

医科と歯科の連携

当院では、がんの治療中でも安心して歯科を受診できるよう、鶴岡地区歯科医師会と連携してお近くの「がん診療連携歯科医」を紹介しております。

今後の治療が円滑に進むように、事前に歯科医院を受診していただくことをおすすめします。



問い合わせ先

鶴岡市立荘内病院
地域医療連携室
TEL.0235-26-5155

歯科受診の流れ

予 約

患者さんご自身が、がん診療連携歯科医を選び『連携の歯科受診』です、と予約。外来から紹介状をもらって受診。



入院前の口腔ケア



入 院

院内でのケア継続。
退院後に必要であれば、がん診療連携歯科医を受診。

退院後も定期的な口腔ケアは大切です。

*口腔ケアとは

お口のトラブルに対する治療や予防のこと。

歯科受診の際は、保険証・お薬手帳・受診券(ある場合)・紹介状・使っている歯ブラシ(ブラッシング指導の為)をご持参ください。

入院中の合併症予防

がんの手術を受ける方へ

受診しやすい
「がん診療連携歯科医」
をご紹介します。



入院前にお口のチェックを!

入院中には、お口の細菌によって肺炎や口内炎が起こる場合があります。

トラブルを防ぐためには、お口を手術前からキレイにしておくこと、お口から栄養をとれるようにしておくことが大切です。

入院中の合併症を予防するために、入院前に口腔ケアを受けましょう。

入院前にお口のチェックを!

全身麻酔手術前の歯科受診のすすめ

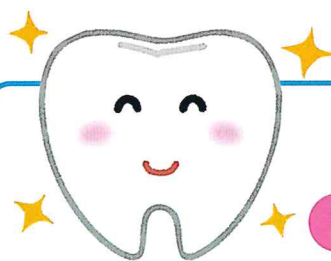
お口の中はとても細菌の多い部位です。そのため、がん治療のような大きな治療を行う時、その細菌が肺に入ると肺炎をおこしたり悪影響を及ぼすことが知られています。あらかじめ治療開始前に口腔ケア（お口の中をきれいにし、細菌をできるだけ減らしておく）を行うことで、がん治療を助ける効果が期待できます。

次ぎの4つの効果が期待できます

①

肺炎予防

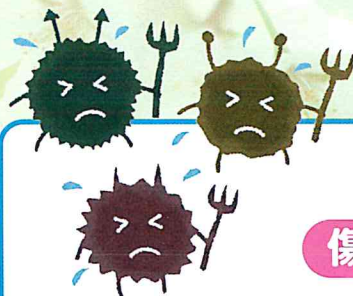
お口の中をクリーニングすることで細菌が減り、手術後の肺炎のリスクを減らせると言われています。



②

歯の脱落防止

全身麻酔時の気管内挿管（人工呼吸器の管が口や鼻を通して気管の中に入る）の際に、歯が折れたり抜けたりしないよう歯を守る準備ができます。



③

傷口の感染予防

口やのど、食道などの手術の場合、お口の中の細菌を減らしておくことで、術後に傷口の感染がおきるリスクを減らせる可能性があります。



④

お食事をとりやすく

あらかじめ口腔内の状態を良好にしておくことで、手術後にお口からの食事開始が早期から可能となり、全身の回復を助けます。

しっかりと口から食事をとることは、術後の回復を早めます。